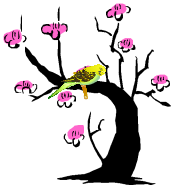
颯爽と

生徒指導部から
＝＝未来の花を咲かせるために＝＝
２０２６年２月２６日

ミラノ・コルティナ五輪が閉幕しました。４年に一度，という舞台に立つために選手はどれほどの努力を積み重ねてきたのでしょう。そんな選手たちの晴れ舞台での姿にたくさんの感動をもらいました。しかし，当然のことながら，自分の目標とした結果が得られなかったことやその舞台にさえ上がれなかったことで悔しい思いをしている選手も数多くいます。その悔しさをバネに，４年後の次の五輪に向けて，すでに努力を始めている選手も多いと思います。その長い年月の中で，夢や目標に向かう過程には，言い尽くせないほどの紆余曲折を抱えているはずです。あなたたちに残された高校生活は，それぞれあと１年，あるいは２年あまり。五輪という舞台を目指す選手をお手本にしながら，夢や目標に向かって，仲間たちと励まし合いながら，勇往邁進してくれることを願います。

春の足音がそこまで･･･。

季節は二十四節気の「啓蟄」に向かいます。暖かな日の訪れとともに，寒さに凍えていた動植物が一斉に春を謳歌し始めます。私たちの目に映る春の風景は，実は昨年と同じものではなく，今年は今年の花が咲き，今年の鳥が鳴いています。それでも私たちは毎年，その美しい花の姿に，その鳥のさえずりに感動を覚えます。同じように，鹿児島工業高校も，毎年，生徒は入れ替わっても，その形づくられた伝統の花は進化することこそあれ，絶対に枯らしてはいけないものだと思います。

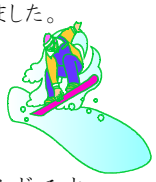


鹿児島市内でも耳を澄ませば木立の中から，春の訪れを告げるウグイスの美しい鳴き声が聞こえてきます。それも最初は，何の鳥かもはっきりしないような鳴き声です。
それが日を追うごとに少しずつ「ホーホケキョ」というなじみある力強く，美しい鳴き声に変わっていきます。

ミラノ･コルティナオリンピックでの日本人選手の活躍をメディアで目にした人も多いでしょう。スノーボードビッグエア男子の木村葵来さんと女子の村瀬心椛さん，ハーフパイプの戸塚優斗さんや平野歩夢さん，スキージャンプの高梨沙羅さん，スピードスケートの高木美保さん，フィギュアのりくりゅうペアや坂本花織さんなど枚挙にいとまがありません。選手たちは，この舞台に立つためにどれほどの思いや努力を詰め込んできたのでしょう。例えば，高梨沙羅さん，前回の北京五輪団体戦でスーツ規定違反で失格，4位に終わった責任を背負い，いわれのないバッシングを受け，一時は引退を考えるまでに追い込まれました。そして，今回，1456日越しの雪辱を果たし，見事，銅メダルを獲得，前回メンバーの伊藤有希選手が駆け寄って抱きしめながら，「よかったね，頑張ったね」という言葉をかけるシーンは，多くの人の心を打ちました。

ほとんど雪の積もらない土地に生活するあなたたちにとってはあまりなじみのなかったウィンタースポーツも，彼らの活躍でいつかやってみたいと思っている人も多いのではないでしょうか。是非，ゲレンデに足を運んで，雪山の絶景や空を舞う雪の結晶に心を動かし，これまで体験したことのないスポーツやアクティビティに挑戦し，人生観を変えるほどの体験をしてほしいと思います。とはいっても，最高速度が140kmにもなるスキー滑降，地上高140mからスタートするジャンプ，様々な競技での華麗なエアなど，やはり私たちには想像を絶する競技であることに変わりはありませんが･･･。

私たちは，オリンピックやワールドカップなどの舞台での選手たちの完成された技に感嘆させられます。
そんな最高の舞台で披露されるパフォーマンスばかりに目を奪われがちですが，
そこに至るまでの長い歳月の努力，途方もない鍛錬の積み重ねがあったことを感じ取らなければなりません。
一つの技を手にするために費やした多くの努力を見習わなくてはなりません。
例えば，エアの技術を体得するために，選手たちは夏，散水されたエアマットに向かって何度も何度もジャンプします。
当たり前の話ですが，いきなり固い雪上で練習できるものではなく，ジャンプのタイミングや空中での姿勢，
平衡感覚など少しずつステップアップしていくのです。
ウインタースポーツにとってはオフシーズンである夏場の地道な練習の成果がメダル獲得に結びついています。
大会会場で華々しくエアを決めて脚光を浴びる姿だけではなく，
私たちはそんな地道な部分にこそ目を向けて，お手本にしていくべきではないでしょうか。
また，残念なことに，JOCは五輪期間中に選手たちへの誹謗中傷が相当数に上るという発表を出しました。
それは間違いなく，想像力や思いやりを欠いた寂しい心の持ち主による悲しい行為です。



ウグイスの美しい鳴き声も生まれながらにして完成されたものではありません。
幼鳥は，何度も声を詰まらせながら，鳴きます。
あんな小さな鳥でさえ，何度も何度も上手に鳴くための練習をしているのです。
あなたたちも，今できないことがずっとできないわけじゃない。練習によって，できるようになるはずです。
その目標達成のための練習への取組が人としての成長にも繋がるはずです。
あなた方の「若さ」は力です。高校を卒業するまでにたくさん練習できる「若さ」を武器に，心や体を鍛え，
新しいことにどんどん挑戦してください。　　応援しています。